

目次

まえがき

1. 地震の概要	2
1.1 地震の諸元等	2
1.2 地震動の特徴	4
1.3 被害状況	12
2. 被災の概要	16
2.1 公社施設の概要	16
2.2 被災の概要	25
2.2.1 岸壁の被災	25
2.2.2 陸側クレーン基礎の被災	28
2.2.3 ヤードの被災	29
3. 復興計画	38
3.1 復興計画の基本的考え方	38
3.2 神戸港復興計画	40
3.3 神戸港港湾計画の改訂	41
3.4 公社埠頭復興計画	43
3.5 阪神・淡路復興委員会	45
4. 復旧・復興への取り組み	48
4.1 復旧復興体制	48
4.1.1 震災復興対策本部の設置	48
4.1.2 工事の安全管理体制	48
4.1.3 復旧体制の強化	49
4.1.4 工事委託	50
4.2 財政支援	50
4.2.1 財政支援	50
4.3 応急措置	53
4.3.1 航泊禁止区域の設定	53
4.3.2 コンテナクレーンの倒壊防止対策	54
4.3.3 水道・電気の供給	54
4.4 復旧事業に伴う主な調整事項	54
4.4.1 生コンプラント・アスコンプラントの設置	54
4.4.2 復旧工事と航行安全対策	55
4.4.3 公社埠頭内にある他事業者施設の復旧	55
4.4.4 土捨場の確保	58
4.4.5 ケーソン仮置場の確保	59
4.4.6 借受者との調整	59
5. 岸壁の復旧設計	62
5.1 暫定復旧バースの設計	62
5.1.1 コンテナバースの暫定復旧設計	63
5.1.2 ライナーバースの暫定復旧設計	83
5.1.3 フェリーバースの暫定復旧設計	85
5.2 本格復旧バースの設計	90
5.2.1 復旧設計の基本的考え方	91
5.2.2 岸壁復旧の設計条件	93
5.2.3 復旧工法の選定	98
5.3 コンテナバースの岸壁復旧設計	104
5.3.1 デタッチトケーソン工法 (PC1~5・RC1~5)	104
5.3.2 既設ケーソン据直し工法 (PC7~9・PC11~12)	145
5.3.3 デタッチト棧橋工法 (RC6~7)	152

5.4	ライナーバースの岸壁復旧設計	167
5.4.1	鋼管矢板（控え直杭式）工法（PL1～15）	167
5.5	フェリーバースの岸壁復旧設計	185
5.5.1	既設ケーソン据直し工法（RF1～3）	185
5.6	東部第2工区護岸の復旧設計	191
5.6.1	既設ケーソン補強工法	191
6.	岸壁の復旧工事	198
6.1	岸壁復旧工事の概要	198
6.2	コンテナバースの岸壁復旧工事	226
6.2.1	デタッチトケーソン構造の復旧工事（PC1～5・RC1～5）	226
6.2.2	既設ケーソン据直し構造の復旧工事（PC7～9・PC11～12）	258
6.2.3	デタッチト栈橋構造の復旧工事（RC6～7）	272
6.3	ライナーバースの岸壁復旧工事	295
6.3.1	控え直杭式鋼管矢板構造の復旧工事（PL1～15）	295
6.4	フェリーバースの岸壁復旧工事	309
6.4.1	既設ケーソン据直し構造の復旧工事（RF1～3）	309
6.5	東部第2工区護岸の復旧工事	326
6.5.1	既設ケーソン補強構造の復旧工事	326
7.	ヤードの復旧工事	332
7.1	ヤード復旧の基本方針	332
7.2	ヤード舗装の復旧	333
7.3	附帯施設の復旧	339
7.4	ヤード復旧工事	344
8.	コンテナクレーンの復旧工事	346
8.1	被害状況の調査結果	346
8.2	被害状況から推定される破損のメカニズム	372
8.3	復旧工事の施工概要	372
8.4	復旧方針	377
8.5	コンテナクレーンの耐震対策	378
9.	建築施設の復旧工事	380
9.1	建築施設の震災直後状況	380
9.2	建築施設の被災状況詳細の把握	380
9.3	PL上屋基礎杭調査	384
9.4	建築施設の復旧工事内容	387
10.	電気施設の復旧工事	406
10.1	震災直後の状況と復電状況	406
10.2	電気施設の被害状況と本格復旧工事内容	406
11.	復興に向けて	412
11.1	港勢の回復状況	412
11.2	最新鋭コンテナ船埠頭の整備	414

参考文献

あとがき

資料編（別冊）